

成果指標				
成果指標	当該年度の中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数／昨年度の中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数×100			
指標設定の考え方	中間管理機構を活用した借り手と貸し手の契約数を測定することにより、事業効果を図る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	0	100%以上	0	0
実績	0	1	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	相談や交渉、確認等農地中間管理機構からの受託業務の実施に係る経費の支出のみであり認められる課題はない。なお「人・農地プラン」は、地域の連携窓口として更に重要となることから、未策定地区への策定推進がより求められる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域農業を支えている担い手農家に対して、農地の集積・集約化を促進するために事業展開を行っているが、本市のみならず全国的に集積・集約化が図られていない現状である。原因として、事務手続きの煩雑さ、長期の貸借期間(10年間)、本市に多くみられる中山間地域に即さない事業内容が考えられる。しかしながら、事業を活用することによって農家等に対しメリットがあるために、農家の意向を尊重しながら、必要に応じて事業を実施していきたい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題